

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌月寒高等学校長 三村 素道 印

次のとおり令和7年度の学校評価(定時制)について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- (1) 学ぶ意欲を喚起するきめ細やかな学習支援・学習指導  
 (2) 豊かな人間性を育む発達支持的な生徒支援・生徒指導  
 (3) 主体的な進路選択と個々の進路実現を目指す進路支援・進路指導  
 (4) 自他の健康と安全を目指す健康支援及び健康・安全指導

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程は概ね適切に実施されており、学びなおしを軸としたきめ細やかな学習支援により進級・卒業につながる成果が見られる。</li> <li>対話的・探究的な学びは、個々の教員による実践は見られるものの、組織的な取組としての広がりには課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援を基盤とした丁寧な指導や生徒の実態に応じた教育活動が評価された。</li> <li>主体的・対話的で深い学びや探究活動の一層の充実について、今後の取組への期待が示された。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細やかな学習支援を継続しつつ、対話的活動や探究的学びを取り入れた授業改善とICT活用の充実を図り、教育活動の積極的な情報発信に努める。</li> </ul>	
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達支持的な生徒支援のもと、基本的な生活習慣の改善が進み、生徒の自己管理意識は向上している。</li> <li>行事等を通じ主体性や社会性が育まれ、いじめ対応も組織的に機能している。</li> <li>家庭連携や組織的取組に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じた丁寧な支援や、行事を通じた主体性の育成、いじめの未然防止に向けた組織的対応が評価された。</li> <li>発達支持的な指導の更なる充実と、家庭との連携強化について今後の取組が期待されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じた継続的支援により自己管理能力の向上を図るとともに、行事等の参観機会を充実させ、家庭との連携強化を図る。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な進路選択に向け、講話や体験活動を通じて、早期からの進路意識の醸成が図られている。</li> <li>面談や日常指導により個に応じた支援が行われている。</li> <li>低学年段階からの支援強化に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動や外部連携を通じた実践的な進路指導や、生徒に寄り添った丁寧な支援が評価された。</li> <li>主体的な進路選択を一層促す系統的な指導の充実と、低学年からの継続的支援の強化が期待されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年間を見通した系統的な指導計画に基づき、低学年段階からの進路支援を強化するとともに、外部機関との連携を一層推進し、体験活動の充実を図る。</li> </ul>	
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健だよりの発行や健康相談、交通安全教室や防災教育、性に関する講話等を通じて、健康・安全意識の向上が図られ、教育相談体制や外部連携も機能している。</li> <li>家庭・地域と連携した取組の更なる充実が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講話や防災・安全教育、健康相談等の取組を通じた実践的な指導や、外部機関と連携した支援体制が評価された。</li> <li>家庭や地域と連携した取組の一層の充実が期待されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・安全に関する啓発と相談体制の充実を図り、外部機関と連携した早期対応を強化するとともに、家庭・地域との連携を推進し、健康と安全を支える体制充実を図る。</li> </ul>	
運営・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営方針の共有と学校評価により課題の明確化と改善が図られている。</li> <li>分掌間連携や業務分担の見直しにより運営改善が進んだ。</li> <li>組織的な取組の一層の深化が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な学校運営や分掌間の連携による取組が評価された。</li> <li>取組の更なる組織化や、分掌を越えた連携の強化など、持続可能な運営体制の構築が期待されている。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌間の連携強化と情報共有の仕組みを整備し、取組の標準化と組織化を推進するとともに、業務の平準化を図り、持続可能な運営体制の充実を図る。</li> </ul>	
公表方法	<p>(1) 学校HPに掲載する。          (2) 後援会役員会・総会及び学校評議委員会などで報告する。</p>	

## 3 添付資料

令和7年度北海道札幌月寒高等学校 [定時制] 学校評価票(自己評価)